

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	白糠町子ども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 11月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 11月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・全職員が全児童の放課後等デイサービス計画や特徴を捉えて、日々の支援を行っている。	・担当制にはせず課題準備、スケジュールの組み立て、活動の支援、記録等全職員が職務に当たっているため、児童の体調や活動の様子を捉えやすくしている。	・支援終了後に情報の共有や意見交換をするときには、積極的に参加できるよう、全員に話を振っていく。 ・会議での発言がしやすくなるよう、普段の会話も雑談するなど心がけて職員間の交流を深めていく。 ・職員の経験年数の違いを埋めるため、分かりやすい助言など助け合っていく。
2	・事業所が広く、各活動場所を明確に分け、余裕を持って場所の確保ができる。	・活動場所を明確にし、他者の活動に支障が出ないよう活動を組んでいるが、安全確保のためにも職員が、各活動に配置できるようにしている。	・高学年になる児童の利用もあるため、自立へ向けて食器洗いや掃除機を掛けたり、洗濯機の使用方法を学んだり、清潔を保つためのシャワー浴などの活動も取り組めるようにしていきたい。
3	・児童らの相談、要望、要求などは、可能な範囲ですぐに対応している。	・工作やご褒美アイテムなど、自己の想いが叶うかもしれない期待感や、相手に伝えたい関わりたい欲求が高まるように、文字やイラストを用いて児童と相談をしながら計画を立てて実行している。	・相手に伝わりやすい言い方や方法を、児童の特徴に合わせ分かりやすく伝えるために、職員のSST研修など必要な技術を学べる機会を作れるよう検討していく。 ・家庭でも取り組める活動内容を探して汎化しやすい支援を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用回数を増やしたいなどのニーズがあるが、希望に応えることが現在難しい状況である。	・白糠地域には他事業所は無く、児童発達支援と放課後等デイサービスの両方で1日10名の枠で運営しており、毎年、新年度を迎える度に契約人数は微増しているため。	・今後もできるだけ利用人数の調整をせずに済むよう応援要請等はしていくが、やむ負えず調整となったときには保護者家族と相談しながら利用日の振替えなど希望を伺い、できるだけ要望に添えるよう検討していく。
2	・職員の急遽の欠勤を補填できる体制がとれにくく、利用人数について調整が必要となることがたまにある。	・予め職員の研修や家庭の都合不在になることが分かっている場合には、法人内のフォロー体制を組むことはできるが、体調不良等の予測がつかない場合には、フォロー体制を組むことが難しいこともあり、お子様の安全確保のために利用人数の調整を必要とするため。	・今後もできるだけ利用人数の調整をせずに済むよう応援要請等はしていくが、やむ負えず調整となったときには保護者家族と相談しながら利用日の振替えなど希望を伺い、できるだけ要望に添えるよう検討していく。
3			